

[郵送物の中身について]

- ① 図書カード/府教育長からのメッセージの入った封筒
- ② 家庭学習サポートセット（授業課題）
- ③ 「就学援助の申請について（再確認）」
- ④ 「四中だより」
- ⑤ 「学年通信」
- ⑥ 文部科学省より布製マスク1枚（登校時に活用してください。）
- ⑦ 「分散登校のグループ分け」
- ⑧ 「カウンセラーだより」
- ⑨ 「学校給食費の公会計化について」
- ⑩ 「新型コロナウイルス感染症対策に係る措置について」
- ⑪ 「5月11日（月）以降の家庭学習について」



[ライデンメール確認について]

休校期間中は、ライデンメールを通して様々な連絡やお願いをしています。今後も感染拡大の状況によって、急な予定変更が生じることもありますので、こまめにメール確認をお願いします。アドレスの変更などでメールが届かなくなった場合には学校までお知らせください。

[就学援助の申請について]

教科書配付の際、就学援助の案内と就学援助申請書を同封させていただきました。申請される場合は「申請書」を、申請されない場合には「就学援助を申請しない意思表示」の用紙を提出していただくことになっています。次回の登校日にお子さまに持たせていただきますようお願いいたします。



◇生徒指導の吉田航太先生より◇

今年度より生徒指導担当になりました“吉田航太”です。かれこれ臨時休校が丸2か月になってしまいましたが、みなさんは元気に過ごしていますか。本当であれば4月最初の朝礼でみなさんにいろいろと話そうと思っていたのですが、その機会もなくなってしまったので、この場を借りて、みなさんに少し話をさせてください。

みなさんは生徒指導と聞くと、どんなイメージを持ちますか。「間違っただけをしたら叱られる」、「学校生活を見張っている先生」というイメージを持っている人も少なくないかもしれません。

しかし、実際はそうではありませんし、私もそのような先生になろうとは、もちろん思っていないです。私は、「全ての生徒が安心して過ごせる学校をつくること」こそが生徒指導だと思っています。全ての生徒とは、今この文章を読んでいるあなたたち一人ひとりです。ただし、これは決して簡単なことではなく、私や他の先生がどれだけ努力しても叶うものではありません。全ての生徒が安心して過ごすために必要不可欠なもの、それは「生徒であるみなさんの前向きな力」です。

四中では昨年度から、標準服の衣替え(夏服と冬服の着用時期の区分)がなくなりました。これは、みなさんや卒業した先輩たち一人ひとりが、正しいルールを守って標準服を着ていたからこそ変えることができたものです。(ちなみにそれまでは、時期によっては暑くても冬服を着ていました。)

このように、前向きな力は、みなさんがより安心して過ごせる、過ごしやすい学校をつくっていくエネルギーになります。「学校をつくるのは他でもない自分たちなんだ」という前向きな気持ちを持ったみなさんと学校生活を送れる日々が来るのを楽しみにしています。今は健康に十分気を付けて過ごしてくださいね。

◇養護教諭の平井千賀子先生より◇

今年度より四中に来ました、保健室の^{ひらいちかこ}平井千賀子(旧姓: ^{わせだ}早稲田)です。



昨年度までは豊川南小学校にいました。豊川南小出身のみなさん、「おひさしぶりです!」。そして萱野東小出身のみなさん、転入生のみなさん、「はじめまして!」。

みなさんが心も体も健康に学校生活を送り、卒業後も自分で健康を保持する力を身につけられるよう一緒にお手伝いできればと思います。どうぞよろしくをお願いします。

コロナウイルス感染症拡大の影響で学校に登校できない日が続いています。これは、自分や自分の周りの人の健康を守るための措置ですが、自由が制限されるとストレスが溜まってきますね。こうした反応が出るのは自然なことです。心や体にいつもと違う反応が現れたら、①生活リズムを正す、②ストレス発散する(散歩・ストレッチ・日光浴・音楽…)、③家族や友達と話して笑う などして、上手に身体と向き合しましょう。学校再開後、みなさんに会えることを楽しみにしています。

悩みや不安なことがあれば、次のように相談できる場所もあります。

・大阪府教育センター「すこやか教育相談」

子どもからの相談(すこやかホットライン) Tel: 06-6607-7361 sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

保護者からの相談(さわやかホットライン) Tel: 06-6607-7362 sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp

◇休業期間中に読書はありますか◇ 学年の先生からおすすめの本
《3年生の先生から》



「ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー」

作者：ブレイディみかこ 出版社：新潮社

中学校1年生の「ぼく」が、学校で直面する「日常」には、毎日驚きがいっぱい。なによりも、「ぼく」が誠実に人と向き合う姿に心を打たれます。人種差別やいじめに対し、素直に怒りをぶつける「ぼく」の強さと優しさに、ぐんぐん引き込まれます。クラスメイトの人種差別発言に対し心を痛める「ぼく」に、お母さんが「そのひとは無知なの」と答えるところは、大人も考えさせられました。ぜひおうちで一緒に読んでほしい本です。

「あたらしい高校生」

作者：山本つばみ 出版社：IBCパブリッシング

箕面の中学校に通っていた英語の苦手な女の子が、アメリカの難関大学に合格するまでの苦労や、入学してからの体験談をつづった本。

《2年生の先生から》

「きみの友だち」

作者：重松清 出版社：新潮社

人間関係に悩んだり、少しのことでイライラしたり…。中学2年生という難しい時期に、ほんの少し優しい気持ちになれる作品です。

「新！3歳のハローワーク」

作者：村上龍 出版社：幻冬舎

「授業科目」から職業を探すことが出来る本です。好きな教科、苦手な教科があると思いますが、今得意な科目の項目を見れば、その分野の仕事を見つけることができます。

《1年生の先生から》

「獣の奏者」

作者：上橋菜穂子 出版社：講談社

小・中学生の年頃の少女が様々な問題と向き合って成長していくストーリー。皆さんにも目の前にある苦難に向き合う気持ちを持ってほしくて紹介しました。

「君たちはどう生きるか」

作者：吉野源三郎原作（漫画）出版社：マガジンワールド

1937年に吉野源三郎さんが発表して以来、多くの世代に読みつがれてきました。紹介した本は原作の良さを失わずにマンガ化されていて、とても読みやすいです。子どもから大人に成長していく君たちに一度「自分は何のために生きるのか」を考えてほしいと思い、この本をすすめます。

